

ごみを分別すれば “資源”になります!



☎ クリーンセンター ☎ (93) 4529

リサイクルを進めています

市民の皆さんが分別して収集場所に出していただいたごみは、環境負荷を減らすとともに、持続可能な循環型社会にするため、さらに分別して、資源物としてリサイクルを行っています。

ごみを減らすための行動・選択3R

リデュース
Reduce ごみを減らす
リユース
Reuse 繰り返し使う
リサイクル
Recycle 再生利用

資源化できるごみはたくさんあります

● 廃食用油（使用済み油）→ SAF（航空燃料）に

市内全世帯（約 25,000 世帯）が 500 ミリリットルずつ廃食用油を出すと、合計 12,500 リットルとなります。

この量から製造された SAF は、
おおよそ成田空港から新千歳
空港までの航空燃料に相当します。



● 小型充電式電池 → 新たな電池の材料に

小型充電式電池とは、ニッケル水素電池・ニカド電池・リチウムイオン電池などです。

コバルト・ニッケル・リチウムなどの希少金属を回収し、再資源化することができます。

リサイクルできる小型充電式電池は、次のリサイクルマークがついているものです。



▲ニッケル水素電池



▲ニカド電池



▲リチウムイオン電池

! ご注意ください

小型充電式電池を収集場所に出すと、発煙・発火する危険性があります。必ず決められた拠点回収場所へお持ちください。



廃食用油・小型充電式電池の回収方法は？

4 月から、拠点回収の場所が次の 5 箇所に増えました。

- クリーンセンター
- 市役所環境課
- 北部コミュニティセンター
- 中部ふれあいセンター
- 福祉センター

詳しくは、市公式ホームページをご覧ください。



ほかにも、資源化されているものが
たくさんあります!

- 使用済ペットボトル → 新たなペットボトルや衣類などに
- 布団類 → 防音材やマットレスの詰め物などに
- 植物廃材（剪定枝など） → 畜産資材や燃料などに

詳しい収集日は、分別収集日程表をご覧ください。



クリーンセンターの「ごみの分別」

地域のごみ収集場所から集めた不燃物やクリーンセンターに持ち込まれたものは、作業員が手作業で分別しています。不純物を取り除いて純度を高めるとともに、施設の設備故障や火災発生を防ぎ、安全を確保するためです。ごみを出す際には、ごみ分別ルールのご遵守をお願いします。

